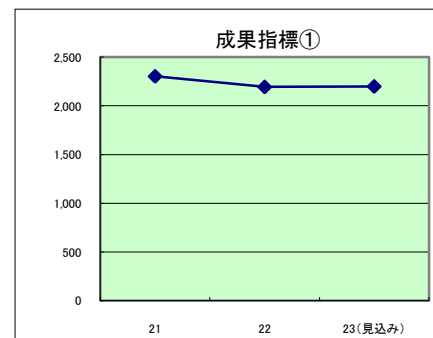
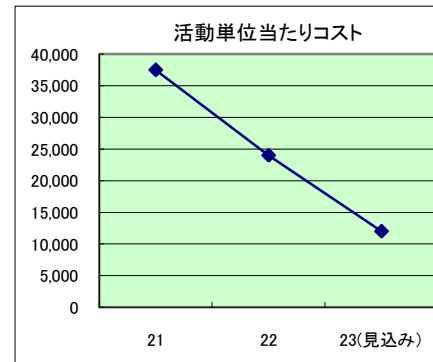


事務事業名	中学校体育連盟関係業務		会計		
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	予算科目	
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション	項目	
	施策の方向	(2)	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり	事業	
	関連する計画等			作成部署	教育委員会事務局生涯学習室 スポーツ振興課
事業の目的	対象(誰を・何を)		連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4413	
事業の内容	市内運動系クラブ活動参加者				
	意図(どういう状態にしたいのか)				
	中学校相互及び南河内中学校体育連盟との連絡を密にし、スポーツを通じて心身の健全なる発達を図る。				
	1. 市中学校総合体育大会の開催 2. 各種競技会・記録会の開催 3. 各種競技会に関する講習会 4. 本連盟の目的達成のために必要な事業				
根拠法令等	スポーツ振興法、日本・府・地域・市体育連盟規約				
事業開始時期	☐ 昭和 元 年開始 ☐ 明確にはわからない		終了年度	平成	年度
	☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている				
事業開始時からの状況変化					
市民や議会の要望					
実施手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先	☐ 市外郭団体委託 名称()		委託内容		
	☐ 民間委託 ☐ その他				

区 分		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込み)
事業費【1】		(千円)		
人件費【2】		(千円)	150	144
職員数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.01 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】		(千円)	150	144
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)		
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	150	144
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度
① 理事会の開催回数		回	4	6
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)			37,500 円	24,000 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)			1 円	1 円
				23年度(見込み)
				12,000 円
				1 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	運動クラブ活動者 (式)	人	中体連加盟クラブ活動者数	目標	2,300	2,300	達成率(%)	2,200
					実績	2,304	2,195	95.4%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	本連盟が主体となり市内中学校（7中学校）のとりまとめを行っているため、市事業との兼ね合いも含め、その業務に市の関与が必要である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	中学生対象の競技会、大会等を実施し、青少年の健全育成に寄与するとともに、目的意識や課題等に取り組む姿勢を習得させる等、非常に大きな役割を担っている。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	☒	☐	☐	本連盟担当者（連盟理事）が出席し、中学校総合体育大会（中体連事業）、市民総合体育大会（市事業）、市民マラソン大会（市事業）等の協議を行っており、効率のよい業務が行われている。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策（目的）が明確である	☒	☐	☐	大会の成果を向上させるために各競技間での相互の理解を深める等、改善の余地はある。
		上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	保護者、P T A等との密なる連携と意思統一のもとで、大会の目的達成や部活動を通じた青少年の健全な育成を図っている。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	クラブ活動者数は、前年より減少しているが、目的は達成されている。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☐	☒	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	本連盟が主体となり市内中学校（7中学校）のとりまとめや、青少年の健全育成等の重要な役割を担っている事業である。市民の参加・協力も得られ充実が図られている。 今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など） 今後も継続して、大会の目的達成や青少年の健全育成のため事業に取り組む。なお、各競技間で相互の理解を深めるための取り組みを検討する。	
	総合評価	
行革本部評価	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	
	評価理由・意見	